資料第３号

# おやこのキモチ発見イベント

## ～まいにちの「えらぶ」を考える～

## こどもの権利に関するパネル展示

**実施日** 2026年9月6日（日）　キモチ発見イベント①11:00～12:00　②13:00～14:00
パネル展示　9:30~16:00

**会　場** 文京シビックセンター４階会議室Ａ

**来場者** 子育てフェスティバル全体でのべ約9,000名 ※本イベント来場者数600名

### ❶ 内容

① おやこのキモチ発見イベント
② こどもの権利に関するパネル展示(アンケート・輪投げ)




### ❷ 当日の様子

当日は、あいにくの雨となりましたが、多くの親子が来場し、会場は大いに賑わいました。
おやこのキモチ発見イベントでは、洋服カードを選んでいただく中でそれぞれの違いや気づきを発見いただく機会となりました。
その他にもパネル展示やアンケート、輪投げなどもお楽しみいただきました。
本イベントを通じて親子で楽しみながら、こどもの権利について知っていただける一日となりました。









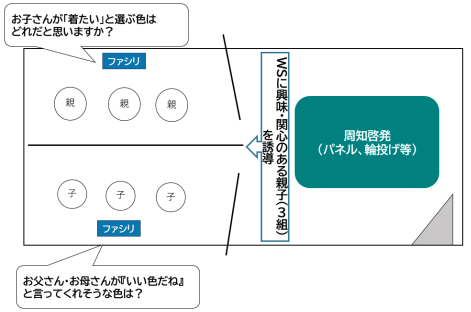



文京区 BUNKYO CITY

## ❸ 内容実施手順

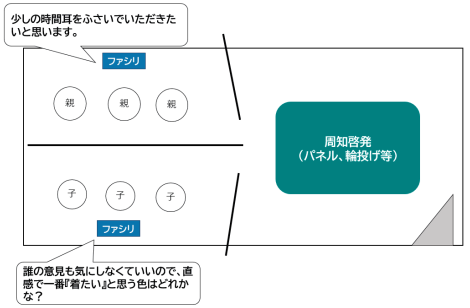
### ❶ 導入・親の予想（約3分）

⑴アクション: 親子が対面に座り、間に仕切りを置く。
⑵親への指示:「お子さんが『着たい』と選ぶ色はどれだと思うか？」と聞き、予想する色カードをシートに書いてもらう。
⑶子への指示:「お父さん・お母さんが『いい色だね』と言ってくれそうな色」を1枚選んで、裏返して手元に置いてもらう。



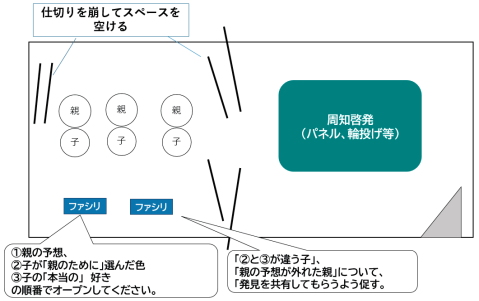

### ❷ こどもへの「魔法の質問」（5分）

⑴アクション: 一度、親に耳を塞いでもらう演出を入れる。
⑵子への指示:スタッフが全体に語りかける。「ここからは秘密の時間。誰の意見も気にしなくていいので、直感で一番『自分が着たい』と思う色はどれ？」
⑶記録: 2枚目のカード（本音）を選び、1枚目とは別に裏返して置かせる。




### ❸ 答え合わせ・発表（5分）

⑴アクション: 親に戻ってもらい、一斉にオープンする。
⑵確認パターン:①親の予想　②子が「親のために」選んだ色　③子の「本当の」好き
⑶ポイント:「②と③が違う子」や「親の予想が外れた親」に、「へぇ〜！そうだったんだ！」という発見を共有してもらう。



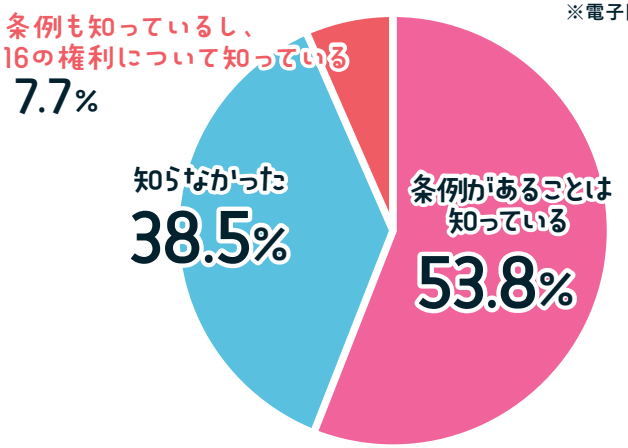

### ❹ まとめ（２分）

⑴こどもは「両親を喜ばせたい」という思いで、無意識に好みを合わせることがあるのかもしれない。（条例チラシをみせながら）４月に施行された「文京区こどもの権利に関する条例」では「⓯自分の意見を表明し、尊重されること」が位置付けられており、こどもも権利の主体として、自由に意見を言って良いし、その意見は尊重される権利があることを説明する。
⑵ノベルティを渡す。

## 4 イベント実施後のアンケート結果

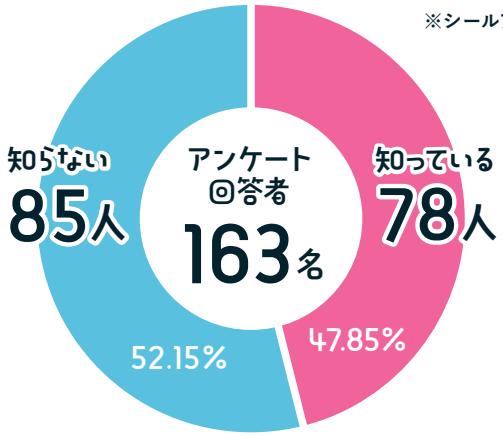
### Q 「文京区こどもの権利に関する条例」をご存知ですか？

※電子回答・紙回答




### Q こどもの権利条例が４月に施行されたことを

※シールアンケート回答




### Q イベントに参加された感想を教えてください

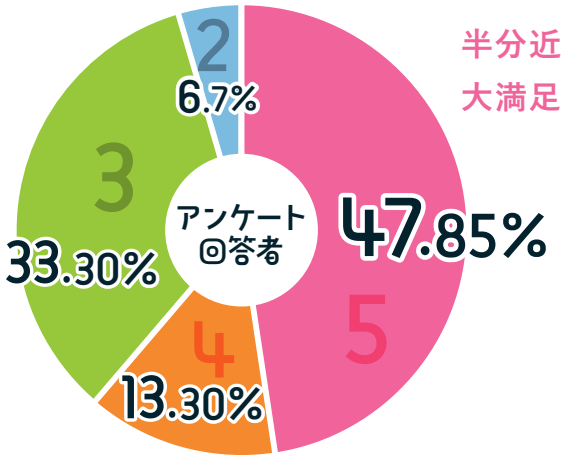
- とても楽しく学びました。大人も自分の気持ちの表明方法を知らないので、とても良い学びになりました。
- みんな優しくてありがたかった。
- 初めて知って、興味がありました。

### Q 「こどもの権利」について、大人への周知方法としてどのようなやり方が効果的だと思いますか。全て教えてください。

- ポスター　●チラシ　●パンフレット　●講演会
- SNS（LINE、X、Instagramなど）　●区からのメール
- ゲーム、遊び、音楽、こども会議、自分のキモチを表現する方法を数種、参加したこどもたちが即興で行う劇

### Q おやこのキモチ発見イベントに参加された方の満足度

※1～5の5段階評価




半分近くの方が
大満足されました！

### Q 企画全体の感想・こどもの権利について自由にご記入ください

- 色々初めて知り、興味深いです。
- わなげが楽しかった。
- 周知が大事なので重要だと思う。
- 普及啓発に頑張ってください。
- 非常に貴重な学びなので、もっと目立つ場所にブースを作れたら良いなと思いました。1Fアートサロンとか。
- 子供に優しくありがとうございました。
- もっとぱっとしてもいいかと。静かでなにやってるかわかりづらかった。